

Title: 「engage」



谷本 結利
静岡県静岡市生まれ。
お茶好き。
ラグビー好き。
ラグビーシーズンは
ほぼ毎週秩父宮。

● 最近のエントリー

- [in INDIA☆
\(2006.06.20\)](#)
- [すぐりんぐ食べたりんじゅや
\(2006.06.01\)](#)

● アーカイブ

- [2013年04月](#)
- [2013年01月](#)
- [2011年09月](#)
- [2011年08月](#)
- [2011年04月](#)
- [2011年01月](#)
- [2010年11月](#)
- [2010年08月](#)
- [2010年07月](#)
- [2010年06月](#)
- [2010年04月](#)
- [2010年03月](#)
- [2010年01月](#)
- [2009年12月](#)
- [2009年11月](#)
- [2009年09月](#)
- [2009年08月](#)
- [2009年07月](#)
- [2009年06月](#)
- [2009年05月](#)
- [2009年04月](#)
- [2009年02月](#)
- [2008年11月](#)
- [2008年06月](#)
- [2008年05月](#)
- [2008年01月](#)
- [2007年12月](#)
- [2007年07月](#)
- [2007年04月](#)
- [2007年01月](#)
- [2006年12月](#)
- [2006年11月](#)
- [2006年10月](#)
- [2006年09月](#)
- [2006年08月](#)
- [2006年06月](#)
- [2006年05月](#)
- [2006年04月](#)
- [2006年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

06.06.20

in INDIA☆

engage > 2006年06月 アーカイブ

インドはすごい☆
いままでの国で会った旅行者がインドが一番おもしろいと言ってたのはわかる気がした☆
「楽しい」ではなく「おもしろい interesting」だけん。
「好き」ではないかもね。よくわからないし、すごく疲れた国だった。

チエンナイ→パンガロール→ムンバイ→ジャイプル→デリー とぎたけん、どこもそれ違う☆

マレーシアからチエンナイにはいったときは、暑くて、これはやばいと思った。
マレーシアではほとんど外に出てなかつたってのもあるけん。

チエンナイ 2日目、こんちゃんと普通の道2時間、砂浜2時間の計4時間歩いてみたら、死にかけた。

水分が足りなくてやばいって感じることってホントにあるんだなあと実感した。

砂浜におりる途中で水が売ってたから買ったけん瞬殺だった。1Lを一瞬で飲み干した。

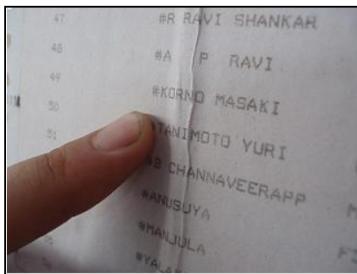


海では地元の人たちが、服のまま、サリーのまま遊んでびしょ濡れになっていた☆
インドの人は大人もすごく楽しそうに遊んでいる☆見ていて楽しい☆





チエンナイからバンガロールは電車で5時間の移動☆
電車の車両に表がって、自分のがあるか確認してから乗る感じだった。



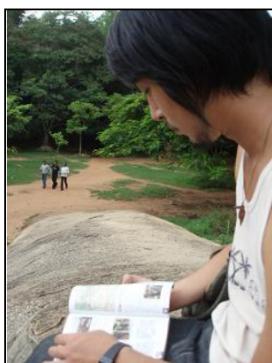
5時間だしあ腹すくかなと思ってお弁当買ったけん、電車内ですごくたくさんご飯がでた☆

まず水
そのあとじゃがいもカレーバイ、人参サラダサンドイッチ
その後紅茶
その後ろ②ちりとまとスープ、乾パン系お菓子
その後カレー2種類、ご飯、チャバティ、ヨーグルト、野菜
最後にアイス

ちょっと眠いなー寝ようかなーと思って少し目を閉じるとすぐ次の食べ物が...。寝かせてはくれない。。。。

バンガロールは、きれいな街だった☆働いてるっぽい欧米人も多い気がした☆





空き地ではクリケットをやっていた☆



インドの人はクリケットがすごく好きらしい☆テレビでもクリケットばっかり☆
子供はだいたいクリケットしてる☆大人も☆

バンガロールでは毎日夕方雨に降られた★
すぐにやむんだけど、どしゃ降りで、一瞬にして道が川になつてた。



こんちゃんはビーサンをあっさり流され、びしょ濡れな上に片足裸足でホテルに向かうはめになつてた。

インドの人の笑いを取れたらよしとしようね笑☆

日本人が珍しいのか一緒に写真を撮ってくれと言ってくるインド人が多かった。
おもしろいほど寄ってくる。
ただ自分たちの写真を撮ってほしいんだろうと思って、カメラを向けてもお前がはいらなぎや
意味がないと言つて他の人に撮らせてた。おもしろかった☆

次はムンバイ。
ムンバイに着いてすぐ、こんちゃんが倒れた。まぢで。
ムンバイに向かう飛行機の中すでに「寒い、気持ち悪い」と言つてた。でも疲れと暑さのせいかと思ってて、とりあえず畳過ぎにホテルに着いたら「ちょっと寝る」と言って寝始めた。
夕方起きたと思ったら、恐ろしいほど汗をかいでるし、ヘルニアが半端なく痛いと言う。動けないらしい。

熱帯病の恐れがあるので病院に行かせようかと思ったけん、とりあえず冷静に熱を測つてみようってことになった。
体温計と、あと食欲もすこでなかったのでジュースと水と果物を探しに出かけた。
こんちゃんといふとこより、はるかに多くの人が声をかけてきた。うざいし怖かった★

買つて帰つてみたらまだうなされて寝ていた★
測つてみたら39℃近かった。でも病院はいま動けないから行けない、ヘルニアの薬を飲んで寝ることにした。でもうなされまくつるし寝れてないのですごく心配だった★
定時連絡の日だ。たでの、メールで病気のことも連絡したらNJKの佐藤さんから「五十嵐先生はカルカッタ組数名の人院などで手一杯です。谷本さん頑張って。」とメールがきた。
「は？」数名入院！？
なんだそれ...インドやれいだろ。
ちょっとへこんだけん、しかし単純な私は「頑張って。」だけで「よし頑張らねば(>_<)」と思えた。佐藤さんに感謝☆
結果この日こんちゃんはホテルから一歩も外に出れなかつた。

次の日、こみあみんは午後になつたわに申またので五十嵐先生とお会談し、病院に行けなかつた。

た。
しかし夜、また体調が悪くなり、うめいていた★心配すぎるだろ★
この日もこんちゃんは一步も外に出れなかった。

次の日は病院に連れて行った。

診断は「ただの風邪」。。

まぢではっとした☆よかったですー☆



しかし「また私は何ともないってバターンかい☆」とか調子ぶっこいてたら、嫌な予感が...。

その夜、私も病気になった。
下痢が止まらず、眠れなかった★

次の日は少し元気になったこんちゃんが外に買出しと撮影に行ったけん、私はずっと部屋にいた。

テレビでやっていた「スponジボブ」が唯一の楽しみみたいな状態。
マラリアの薬、ビブラマイシンを飲むためにこんちゃんが買っててくれたサンドイッチを食べてビブラマイシンを飲んで、また寝転がっていた。

しかし寝返りをうった瞬間に嫌な感じが★

即リリースだった★吐いた★すべてを★

ビブラも吐いただろね、意味ないじゃん★

手足もしびれてきてた★
恐ろしく健康体という点だけはFM向きたと思っていたのに何だこれは...★

定時連絡の電話で、先生から「鉄の女・谷本もどうとう倒れましたね笑」と言われた笑。

次の日は何も食べていなかったから気分も悪くなく、元気になったと思い込み、こんちゃんの撮影についていってみた☆

普通じゃん☆治ったわいい☆

しかし量ごはん。食べれない★食べ物が喉をまったく通らない★

カフェオレにこんな可愛い演出をしてくれたとこだから、全部食べたいと思ったのに...★



その後、気持ち悪いながらも海沿いを歩いていた。
こんちゃんも体調が万全ではないので、もう限界だ、と何度も言っていた。
20分くらい歩いてよいよやばい感じに...。

路上で吐くなんて何年ぶりかね。小さいとき山道で車で酔ったとき以来か。

こんちゃんは心配しくり、前に止まったタクシーに私を乗せてホテルに向かった。

すまんのぅ★撮影の邪魔をしてしまったわ★
でも頭がぼーっとしてしゃべれなかった★

しかししばらくして落ち着いてきた☆
吐き終わった私は元気である☆気分爽快☆
まったく何ともない☆こんちゃんはほっとしたらしく「ホントに食べなきゃ何ともないんだねえ」と笑っていた☆はい、何ともないです笑☆

ホテルに着いたらこんちゃんは少し休んですぐ撮影を行った。でも気分が悪いと言って、わりとすぐ帰ってきた★やっぱいぜ、インド★

陽が長いのでこりずにまた夕方撮影について行った。インド門見たかったし。タージマハルホテルも見たかったし。





いやあムンバイはこんちゃんがいなかつたらホントにやばかったな★
先生に「インド一人は怖いですよーやめなよー」と脅されて予定を一緒にしたけん、いつもの
「だいじょぶじゃね？」で別々に行動してたら、病気で動けなくとも水も果物も買えず、弱る
一方だったろうなあ。
一緒に良かった☆
でもこんちゃんにはご迷惑をおかけしました☆こんちゃんありがとう☆感謝してます☆

次はジャイプル。私が撮影しなくてはなところだった。
着いた日はへと②で何もできなかった。
でもあまり期待せずに決めたホテルが予想をはるかに超えていいところだったので、とてもよく
寝れた☆
ホテル内にレストランと図書室、売店もあった☆



次の日はデリーへのチケットを手配して、政府観光局への聞き込みをしてうまくいけば撮影を
したかった。

チケットはわりと楽にとれたが、次は政府観光局。

「クシュティという格闘技を撮影したくて、ジムを探している」と伝えたが政府観光局のおじ
いちゃんにはわからもらえない。
若い人が出てきたのでその人に話をすると、とても申し訳なさそうな顔で

「A---...impossible...」

と言われた。

「へ！？impossibleであんたじゃあ私はここに何しに来たの！？」
と思いつつもう一度まろかと聞いたらホントにまちimpossibleだと言われた。

さらに申し訳なさそうに「sorry...」と言われた。

「impossible is nothing」
アディダスになりたかった。。。。

へこんでもimpossibleはimpossibleで、そして私はアディダスではないのでimpossibleばかりだと
いうことを悟り、こんちゃんの撮影に付き合うついでにテーマじゃなくともとりあえず一眼で
撮影はすることにした。
一眼をずっと持たないでいるとテンション下がるし。一眼好きだ。

リクシャーのあいちゃんと話あって「ガルタの丘」に行ってもらった。ここはジャイプルのビ
ンクシティ全体が
見渡せるらしくあいちゃんも張り切ってつれてってくれた☆
途中であいちゃんがいきなりリクシャーを降りた。不安になりつつ待っていたうちちらにラッシ
ーを持ちてしてくれた。あいちゃんのおごりらしい。衛生面が心配だったけん、ここで飲まな
いのは無理だと判断し、飲んだ。



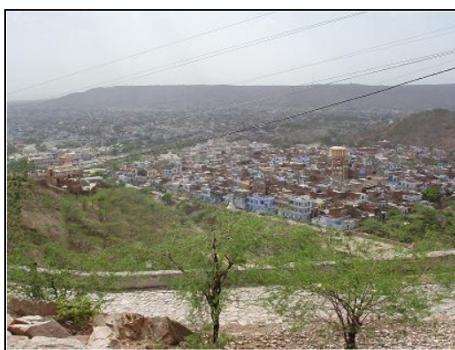
うまかった☆

ガルタの丘は牛の糞が落ちている石でごつした丘だった。
頂上に寺院があるらしく地元民も登ってたけん、観光シーズンとしてはオフなので観光客はう
ちらだけだった。
寺院からは街全体が見渡せたが、感想は

「ピンクシティはわりとブルーシティだなあ...」

っていう...。

ピンクにしてもブルーにしても、きれいなもんはきれいだったけんね☆



さて帰ろうとすると、またしても日本人が珍しいのか一緒に写真を撮ってくれ攻撃。
私はジャイプルではモーテル期が到来したかのような写真の撮られ方だった。
もう笑うしかないほどに一緒に写真を撮ってくれ、私のカメラで撮らせててくれと次々に来た
笑。
手にキスをしてくる人までいた。
こんちゃんは「この街、ゆうちゃんばっかりちやほやするからやだー」とか言ってたけん。

その後、疲れたから帰ると言ってホテルに向かってたけん途中で大雨が...。
こんちゃんの知り合いだという絨毯屋へ sveva させられた。
工場と売り場が一緒になっているところで、2階につれていかれた。
買わなくていいから商品を見てと言われ、まだ買わないからね、と言いつつ見ていたら、
「何か飲むか？」としきりにすすめてきた。
これは地球の歩き方とかに載っている中に睡眠薬とか入ってて金目のものをとられたりするバ
ターンか！？と思ってずっといらないと言い続けた。

しかし、値段を冷静に聞いていると、全く高い値段を言ってきてなかった。
もしも本当に安かった。
雨もやまないので楽しもうということになり、いろいろ絨毯やスカーフやシーツを見せてもら
った。
そして結局お茶ももらった。おいしかった☆
最後には絨毯を作っているところも見せてもらった☆





少し疲ったけん楽しい一日だった☆

次の日はジャンタルマンタル（天文台）に行った☆
おもしろかった☆世界一大きな日時計や、なにを調べるのかまったくわからないけん大きな不思議な物体がたくさんあった☆



ここでも珍しいのか一緒に写真を撮ってくれ攻撃に見舞われた。



まあ最終的には友達みたいになってたけん。

その後歩いて風の宮殿に行き、「意外に小さいなあ」という感想のみで疲れたので街をぶらぶらしながら帰った。街にはきれいな布屋さんがたくさんあった☆





次の日はデリーへ移動。また電車ではたくさんの食べ物が...。

まず水

そのあとジュース

そのあと紅茶（一人一つのポット、ティーバッグ2つ、ミルク2つ）、ナッツ、あげぽんみた

いの、ベビースターみたいの、ミニガード、チョコ

そのあとどろぼちりとまとスープ、かんばんスティック

そのあとカレー3種類、チャパティ、ご飯、野菜、ヨーグルト

そのあとアイス

また疲れなかかった。

デリーに着いたのは23時。危険だ。

うきいほどに群がってくるリクシャーをかわしながら、バックパックを背負ったまま30分ち
かく歩き、ホテルに着いた。

デリーはなんだか疲れるところだった。たくさん警戒しなきゃいけんし★
普通にいい人もいるんだけど、誰を信じていいやらわからんくなる街ですね★

デリー3日目には行き損ねたアーグラーの1日ツアーの参加した☆
スイカンドラー寺院とタージマハルとアーグラー城に行った☆

ジープで片道4時間を11人乗りは正直きつかった。

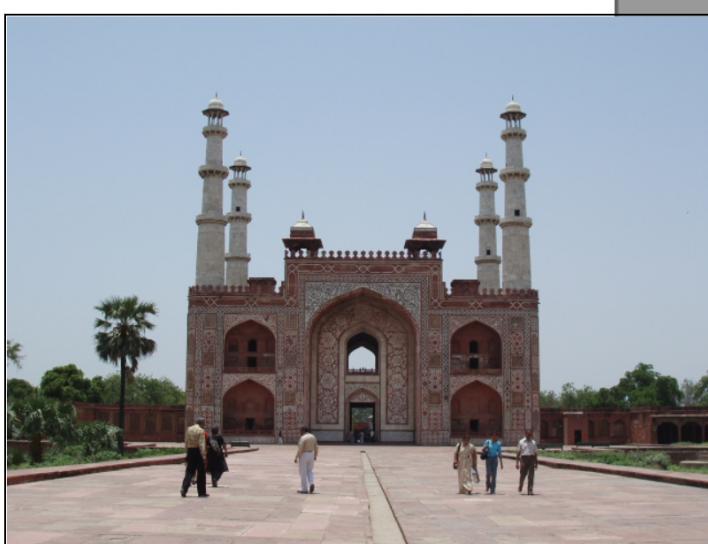
でもタージは本当にきれいで、来てよかったと思った☆

ツアーナー1人で参加していた日本人のお兄さんとも知り合いになった☆

休みのたびに海外旅行しているらしい☆うちの学校のFWの話をしたらうらやましがってたけん

☆

いまはもう日本にいるのかな。





インドはとりあえず疲れる国でした★
ジャイプルのホテル、アルヤ・ニワスにはもう1度行きたいけど、他は別にいいや★
楽しさよりもリスクの方が高い気がするから★



カテゴリー：
post by 谷本 結利 | 日時: 2006.06.20 | [ハーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

engage > 2006年06月 アーカイブ

06.06.01

すくーりんぐ☆ぺたりんじゅや

ベナン島の後はクアラルンプール近くのベタリンジャヤってところでスクーリングでした☆

一週間以上平均睡眠時間2時間以下の生活が続き、ちょっとあぶなかった。。。
宿舎内で行き倒れ、えみちゃんに救出されたこともいまでは懐かしい思い出です☆

現像が一回で3本が限界なので、70本撮った私は...現像24回(>о<)延々とタンクを回し続けましたわ★



↑奥からこんちゃん、私、けいちゃんとやってました☆



けいちゃんこんちゃんと毎日並んでやってたけん、ちょっと離れたどこでやってた明日香さんには「さんは何か苦行をやらされているみたいだよ」と言われるほどに★そう言っている明日香さん自身もやつれいましたが★

ところで宿舎は皆様書いている通り、とても快適でした☆

きれい☆

もっとひどいとこ想像してた身としては最初ははしゃぎました☆

長坂先生、ウォンさんありがとうございました☆ウォンさんは気がききまくりでびっくりするほどお世話になりました☆

理事長さんも来てくださいり、私たちの話を聞いてくださいり、励ましてくださいり、さらに食料を貰い込んでくださいました☆ありがとうございました☆

そして飯塚先生、鈴木先生、来るまではただ怯えていましたが、ご指導ありがとうございました☆

うちらモノクロ暗室組は現像に追われ、食事もかなり、かなりおろそかにしてしまってましたが、デジタル組のえみちゃん、ななこに食べさせてもらひ何とか生き延びました☆本当にありがとうございました☆

現像地獄を乗り切れたのはあなたたちのおかげです(>_<)

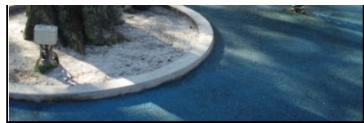


↑えみちゃん作のオムライスです☆顔は私が描きましたがまちうまでしたわ☆

スクーリングが終わってからの日々は、こんちゃんの撮影に付き合いつつ水族館に行ったり、ラカカワイ島で帽子を無くしたので探し求めてみたり、またしてもビーサンが壊れたので近くのスーパーでの妥協してみたりしてました☆







あと1時間もすれば、空港へ向かうバスがきてしまう。。
インドは正直怖い。怯えている。でも頑張らねば。

カテゴリ：

post by 谷本 結利 | 日時: 2006.06.01 | [バー・マリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

Copyright 2007 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS